

# 主権者教育につながるこどもの意見の施策反映の流れ（一例）

## ～「ボールを使える遊び場が欲しい」という小学生の声から公園整備へ～

### 背景

小学生が自分の住む地域にボールを使える遊び場がないという現状を変えるべく、議会を動かした結果、市の施策に反映されることとなった



はまだ市民一日議会で意見を表明する小学生

●令和2年12月 ある議員が「公園整備について」という項目で個人一般質問  
その際、**小学生から議員に届いた手紙**を披露（パネルを活用）

●令和3年7月 浜田市議会で初開催の「**はまだ市民一日議会**」に**同学生が参加**  
「**すくすくの跡地をボールが使える遊び場にしよう**」というテーマで発言

※はまだ市民一日議会 年齢に関係なく市民などが議場で登壇し、日ごろの思いや地域の課題などを述べ、議員全員で何うイベント  
※すくすく 浜田市が設置する子育て支援センター、令和4年4月に新地へ移転

●令和3年9月 はまだ市民一日議会での発言に対し、議会での対応を協議  
特別委員会で協議した結果を以下のとおり同学生へ通知  
「**地域の総意として市へ陳情**することで前進すると考える。大人を巻き込んで」

●令和4年3月 すくすく球友会代表の同学生及びその地域の地区まちづくり推進委員会連名で**議会へ請願が提出**される（児童16人の署名あり）  
「子育て支援センター『すくすく』の跡地を公園として整備することを求める請願」

●令和4年6月 令和4年3月定例会議で継続審査となったが、6月定例会議にて**全会一致で同請願を採択**  
また、市に対し各種計画との整合性を図り、必要な整備の検討を要請する**附帯決議を可決**

●令和5年3月 市は「**身近な公園整備基本方針**」を策定

●令和5年5月 全員協議会にて同請願に対する今後の対応について、市から議会へ以下のとおり報告  
(1) 「すくすく」跡地の一部を利用して**公園整備を計画**  
(2) ボール遊びができる場所として「すくすく」から約700m離れた場所に**広場を整備**

●令和5年12月 「公園環境整備対策事業（旧すくすく跡地公園整備）」5,100万円が計上された**補正予算が上程**され、議会で可決  
上記（1）は令和6年度中に整備予定、（2）は併設施設の供用開始に合わせて整備予定

### 流れ